



俳句 はまおか俳句会

公園の水車の音や天高し
居並びて柏手を打つ恵比須講 河原崎豊子
枯蔓を引くや思はぬ山動く
黄落や千の扇をかざし舞ふ 久保八重
夜長の灯佛間即ち私の間
あるがまま生きて悔いなき年はゆく 宅野須美子
菊咲きて老いと思はず日を送る
色付きを待つ柿われより鳥早し 清水正恵
飼いたと語る声する秋の朝
長嶋常子
平穏な世相を祈る初日かな 坂野操

短歌 はまおか短歌会

秋たけて車窓に風の清しけり西の山並み紅葉に彩ふ
アルバムに拾ふ青春セピア色ある限りの吾が宝とも 久保八重
誰に告ぐると言ふにあらねど野菜作りこまごまメモ新しきノートに 河原崎豊子
川土手のすすき銀色輝やけりそよ吹く風になびきいるなり 清水正恵
太田川をいく度越えしや孫見むとはるけきかの日橋を渡りて
今日こそと娘夫婦に手を借りて夫の墓前に無沙汰を詫びる
吾が夫は九十歳を迎えたり支え合いたる来し方想ふ 山下てる子
発条を巻き足して聞くオルゴール兄買いくれし幼な日の音 長嶋常子
夕闇が誘い出したる虫しぐれ下駄の音止めてしばし聞き入る 増田久江
新年を寿ぐ我が家又一人増えて益々賑々しかり 坂野操

BOOKS 図書館情報

さあ新しい年が始まりましたね。皆さまの新しい一年が楽しく良い年になるように、アスパルも本を通して少しでもお役に立てるよう頑張ります。多くの皆さまのご利用をお待ちしています。

アスパルオススメの1冊

●一般



稲穂の海
熊谷達也／文藝春秋

昭和40年代の宮城県。捕鯨船に乗る猟師は捕鯨禁止の流れに不安を覚え、稲作農家は減反政策で前途多難な状況を迎える。庶民の暮らしが豊かになる一方で、昔話は廃れゆく。高度経済成長とそれまでの暮らしのはざま、生きる喜びと未来への希望を抱く人々を描いた短編集。

●子ども



哲夫の春休み
斎藤惇夫／岩波書店

中学入学前に、父の古里へ旅をすることになった哲夫。行きの列車から不思議なことが起こる。同い年のみどりと共に、自分たちに関わる大人たちの過去に向き合う2人。長岡を舞台に、子どもから大人へと成長していく少年の繊細な心を描く、感動のタイムファンタジー。

1月の新着図書

●一般

- お初のお繭 (著者/一路晃司)
- すめめ映画館 (著者/吉本由美)
- ぎっちゃんちん (著者/群ようこ)
- ランドラッシュ (著者/NHK食糧危機取材班)
- 「寝るのが怖い」がなくなる本 (著者/梶村尚史)
- こまってしまうた忘れてしまうた (著者/安藤りつ)
- 意味不明でありがたいのかーお経は日本語で (著者/戸次公正)
- がちりマンデー!!儲かる秘密 (編/がちりマンデー!!製作委員会)



●子ども

- 13歳のシーズン (著者/あさのあつこ)
- はじめてのお菓子レシピ (著者/齋藤真紀)
- ねないこティップ (作・絵/ポリー・ダンパー)
- おおきなねことちいさなねこ (再話/石黒亜矢子)
- アマダとくまの子 (著者/ターシャ・テューダー)
- 小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅 (著者/佐藤真澄)
- 健太、斧を取れ! (著者/クリストファー・ベルトン)
- どろんこのおともだち (作/バーバラ・マクリントック)
- 病気の魔女と薬の魔女 ローズと魔法の地図 (著者/岡田晴恵)



※この他にもたくさんのが、図書館へ入っています。

照会 市立図書館アスパル 0537@8181